



きよさとっ子

「創立20周年」の意味と価値

校長 遠藤 哲也

5月25日（土）は快晴の下、創立20周年記念清里っ子スポーツフェスティバルを開催しました。当日は、たくさんのご来賓の皆様、地域・保護者の皆様から温かい応援とご参加をいただき、ありがとうございました。また、後援会の皆様の浄財で作製した20周年記念Tシャツを、当日初披露することができました。学年で同じカラーに揃えた清里っ子の姿が、とても輝いて見えました。改めて、後援会の皆様に感謝申し上げます。



色とりどりのTシャツが、今年度のスポフェスに花を添えました。

今回の開催にあたり、昨年度の反省や保護者の皆様からのアンケート等を参考にしながら、体育主任を中心に、職員で「創立20周年」のスポーツフェスティバルとは、どういう形にするとよいか話し合いを続けました。子どもが主役のスポーツフェスティバルです。自分のめあてに向かって楽しんで運動していくよう、授業とのつながりを大切にしながら準備を進めてきました。

ところが、今年度のスポーツフェスティバルでは、それだけに留まらず、はるかにSHIN（進）化した子どもたちの姿がありました。



<準備中のSHIN(進)化>

- ・幼児レースのプレゼントづくりに進んで校長室に通う2～4年生
- ・毎日グラウンドの石拾いを続ける1年生
- ・ダンスコーチ「スマイルエイト」となって、毎日昼休みにダンスを指導する4～6年生
- ・ダンス練習に積極的に参加する全校児童

<当日のSHIN(進)化>

- ・低学年種目を行っている際に、一緒に音楽に合わせて応援席前で踊る3～6年生
- ・幼児たちと手をつなぎながら一緒に走ったり、笑顔でゴールに迎えたりする5・6年生
- ・80m走に飛び入り参加した中学生に、声を枯らして応援する全校児童

スポーツフェスティバルに関わる様々な取組で示す子どもたちの姿に、自分の喜びや楽しみとして行っていることが、みんなの喜びや笑顔に繋がっていくこと、そして、この喜びや笑顔の積み重ねが清里小学校の20年の歴史をつくっているのだと実感しました。「創立20周年」の意味を考え、自らができることに価値を見出した清里っ子に大きな拍手を送ります。

仲間と共に、粘り強く解決策を考え、自分たちの力で新たな価値を創り出した感動の「創立20周年記念清里っ子スポーツフェスティバル」となりました。



5月、6月のトピック



5月22日 イチゴ摘み

読書ボランティアでもある田村さんのイチゴ畑で、3年生がイチゴ摘みに挑戦。楽しみながらたくさん採らせていただき、大満足の子どもたち。おうちで春の味覚を堪能したことでしょう。



6月4日 プール清掃

青空の下、5・6年生はプール床磨き、4年生はプールサイド側溝掃除を中心に、力を合わせて頑張り、ピカピカになりました。安全に気を付け、存分に水に親しんでほしいと願っています。



6月4日 サツマイモ苗植え

2年生が1年生を説いて、サツマイモの苗を植えました。縦割り班でチームを組み、2年生が1年生に優しく教えながら、仲良く植えることができました。秋の収穫まで一緒にお世話を頑張ります。



6月6日 租税教室

6年生が、山川税理士を講師に、税金が公共施設や公共サービスに使われることを具体的に学びました。ジュラルミンケースに入った1億円の重さにお金の大切さを実感していました。



6月6日 社会科見学

汚泥リサイクルパークとクリーンセンターの見学で、し尿を再利用して資源に変えること、ごみ処理の仕方などを学んだ4年生。住みよい暮らしのために働く人々の工夫や努力を考えました。



6月12日 体力テスト

縦割り班ごとに6つの種目を計測しました。高学年が中心となって、計測の補助や記録の記入、移動や給水の指示、応援など、縦割り班のよさを生かして頑張ることができました。



命を守る学び～5月30日(木)避難訓練～

地震を想定した今回の訓練。避難指示の放送で、全学年が安全に避難できました。校長先生から満点をいただき、「自分の命は自分で守る」正しい判断と行動を確認しました。

6月11日には保健委員会児童による熱中症予防の発表も行いました（詳しくは保健だより、HP参照）。7月には着衣泳も予定するなど、命を守る学びを育んでいます。



6月後半、7月の主な予定

6月20日(木) 1年防犯教室

26日(水) 民生委員・児童委員懇談会

27日(木) 6年修学旅行:下越方面～6/28

7月 4日(木) フリー参観、学校保健委員会

学年懇談会、学校給食運営協議会

7月23日(火) 着衣泳(予定)

25日(木) 1学期終業式(給食あり)

26日(金) 夏季休業～8/27

29日(月) 個別懇談～7/31

HP
随時更新中